

# 地方小委員会の概要と意見

(1) 北海道地方小委員会	1
・一般国道236号(帯広・広尾自動車道) 大樹広尾道路(豊似～広尾)	
・一般国道235号(日高自動車道) 静内三石道路(静内～東静内)	
(2) 東北地方小委員会	2
・一般国道4号(下北半島縦貫道路) 野辺地七戸道路	
・一般国道4号 盛岡南道路	
・一般国道398号 石巻バイパス(沢田工区)	
・一般国道7号 秋田南拡幅	
(3) 関東地方小委員会	3
・一般国道17号 中村交差点立体	
・一般国道17号 本庄道路(Ⅱ期)	
・一般国道19号 塩尻拡幅	
(4) 北陸地方小委員会	4
・一般国道7号 沼垂道路	
・一般国道8号 栄拡幅	
(5) 中部地方小委員会	5
・一般国道1号 浜松バイパス(長鶴～中田島)	
(6) 中国地方小委員会	6
・一般国道9号 出雲バイパス(神立～中野東)	
・一般国道2号 岡山倉敷立体(Ⅰ期)	
・一般国道2号 広島南道路(木材港西～廿日市)	
(8) 四国地方小委員会	7
・一般国道56号 四国横断自動車道 宿毛内海道路(宿毛新港～一本松)	
・一般国道56号 四国横断自動車道 宿毛内海道路(御荘～内海)	
・一般国道55号 奈半利安芸道路(安田～安芸)	
(9) 九州地方小委員会	8
・一般国道218号(九州横断自動車道延岡線) 矢部清和道路	
・一般国道3号 博多バイパス(下臼井～空港口)	
・一般国道201号 仲哀拡幅	
・一般国道202号 唐津バイパス	
・一般国道57号(中九州横断道路) 大津熊本道路(大津西～合志)	

# 北海道地方小委員会の概要と意見

## □開催日時

令和4年3月7日（月）13:00～14:30

## □場所

札幌第一合同庁舎 2階 講堂

## □委員名簿

氏名	所属・役職	出席
おかだ みやこ 岡田 美弥子	北海道大学大学院 教授	○
かとう ゆきこ 加藤 由紀子	北海商科大学 教授	○
きし くにひろ 岸 邦宏	北海道大学大学院 教授	○
くぼ としゆき 久保 俊幸	北海道商工会議所連合会 副会頭	○
しまもと かずあき 島本 和明	日本医療大学 総長	○
すかい たかこ 菅井 貴子	気象防災キャスター	○
【委員長】 たかはし きよし 高橋 清	北見工業大学 教授	○

## □対象事業

- ・一般国道236号（帯広・広尾自動車道）大樹広尾道路（豊似～広尾）
- ・一般国道235号（日高自動車道）静内三石道路（静内～東静内）

## □議事概要（各委員からの意見）

### 【一般国道236号（帯広・広尾自動車道）大樹広尾道路（豊似～広尾）】

- ・地吹雪や津波浸水等の災害リスクがある地域であり、災害に強い道路とすべき。

### 【一般国道235号（日高自動車道）静内三石道路（静内～東静内）】

- ・魅力的な観光地を多く有する地域であるが、観光地までのアクセシビリティに劣るため、早期に浦河町まで全線整備すべき。
- ・JR日高線の廃線に伴い、今後、地域の公共交通について考え方が変わってくる地域であり、公共交通と高規格道路が連携した取り組みが重要。

### 【共通】

- ・医療施設等の主要拠点までのアクセシブルルートが1本しか存在しない地域であり、代替性の観点からも重要な道路。
- ・事業化から完成まで時間がかかるため、早期の開通に向けて取り組むことが重要。

## □結論

一般国道236号（帯広・広尾自動車道）大樹広尾道路（豊似～広尾）  
一般国道235号（日高自動車道）静内三石道路（静内～東静内）  
の新規事業化については妥当である。

# 東北地方小委員会の概要と意見

## □開催日時

令和4年3月10日（木）14:00～16:00

## □場所

東北地方整備局 仙台合同庁舎B棟 13階 水災害予報センター

## □委員名簿

氏名	所属・役職	出席
おのざわ あきこ 小野澤 章子	岩手大学 人文社会科学部 准教授	○
かわさき こうた 川崎 興太	福島大学 共生システム理工学類 准教授	○
きくち あきら 菊池 輝	東北工業大学 大学院工学研究科 教授	○
こばやし まさあき 小林 正明	(一社)東北経済連合会 専務理事	
たかひ しのぶ 高樋 忍	(公社)青森観光コンベンション協会 理事	○
【委員長】 はまおか ひでかつ 浜岡 秀勝	秋田大学 理工学部 システムデザイン工学科 教授	○
みやはら いくこ 宮原 育子	宮城学院女子大学 現代ビジネス学部 現代ビジネス学科 教授	○
よしだ あきら 吉田 朗	東北芸術工科大学 基盤教育研究センター 教授	○

(敬称略、五十音順)

## □対象事業

- 一般国道4号（下北半島縦貫道路） 野辺地七戸道路
- 一般国道4号 盛岡南道路
- 一般国道398号 石巻バイパス（沢田工区）
- 一般国道7号 秋田南拡幅

## □議事概要（各委員からの意見）

### 【一般国道4号（下北半島縦貫道路） 野辺地七戸道路】

- 冬期の事故便益に関して、便益に含まれるのであればわかりやすく示すべき。
- 当該箇所は、青森、八戸、下北を連絡する結節点であり非常に重要な事業。

### 【一般国道4号 盛岡南道路】

- 信号交差点が多く混雑している区間であり、三次救急医療機関へのアクセス道路として非常に重要な事業。
- 広域交通を担う路線であり、アクセスコントロールされた路線となるよう、土地利用計画と整合を図ること。
- 現道は非常に混雑しており、新規バイパス事業は非常に重要。また、現道は中央分離帯もないことから、現道対策も引き続き検討すること。

### 【一般国道398号 石巻バイパス（沢田工区）】

- 女川町では内陸部につながる唯一の幹線道路であり非常に重要な事業。
- 権限代行事業については、事業の必要性や困難性がより伝わりやすいように、説明を工夫すること。

### 【一般国道7号 秋田南拡幅】

- 都市計画が決定されてから期間が空いているが、渋滞や事故の課題がある区間であり、計画的に進めるべき。
- 当該事業は非常に重要であり、臨海十字路交差点に関して、整備後の交通状況にも留意すること。

## □結論

- 一般国道4号（下北半島縦貫道路） 野辺地七戸道路
  - 一般国道4号 盛岡南道路
  - 一般国道398号 石巻バイパス（沢田工区）
  - 一般国道7号 秋田南拡幅
- の新規事業化については妥当である。

# 関東地方小委員会の概要と意見

## □開催日時

令和4年3月8日（火）16:00～18:00

## □場所

WEB会議

## □委員名簿

氏名	所属・役職	出席
秋葉 正一 (あきば しょういち)	日本大学生産工学部土木工学科教授	○
大下 茂 (おおしも しげる)	帝京大学経済学部観光経営学科教授	○
鬼沢 良子 (きざわ りょうこ)	NPO法人 「持続可能な社会をつくる元気ネット」理事長	○
久保田 尚 (くぼた ひさし)	埼玉大学大学院理工学研究科教授	
佐々木 淳 (ささき じゅん)	東京大学大学院新領域創成科学研究科教授	○
谷口 綾子 (たにくち あやこ)	筑波大学システム情報系教授	○
藤山 知加子 (ふじやま ちかこ)	横浜国立大学大学院 都市イノベーション研究院准教授	○
二村 真理子 (ふたむら まりこ)	東京女子大学現代教養学部国際社会学科教授	○
水野 創 (みずの はじめ)	千葉県経済同友会副代表幹事	○
【委員長】 屋井 鉄雄 (やい てつお)	東京工業大学副学長	○

## □対象事業

- ・一般国道17号 中村交差点立体
- ・一般国道17号 本庄道路（Ⅱ期）
- ・一般国道19号 塩尻拡幅

## □議事概要（各委員からの意見）

### 【一般国道17号 中村交差点立体】

- ・周遊観光拠点へのアクセス道路の渋滞解消につながる事業であり、その整備効果は広域に及びものと考えられる。
- ・渋滞緩和はCO2の削減や脱炭素にも寄与するので、今後のストック効果として検討すべきである。
- ・便益計算結果以上に、実態の整備効果は高いものと考えられる。事業を進めるにあたっては、このような整備効果も含めて地域に説明することが重要である。

### 【一般国道17号 本庄道路（Ⅱ期）】

- ・当該地域の国道17号は大型車交通量が多く、渋滞している状況。周辺地域に観光地等も点在していることから、バイパス整備による大型車交通の転換により、観光面での整備効果も期待される。
- ・交通渋滞による所要時間ばらつきも課題であり、このバイパス整備が「移動時間の信頼性の向上」に寄与するものと考えられる。

### 【一般国道19号 塩尻拡幅】

- ・地方創生の観点から、拡幅事業により歩道の狭隘区間を解消するなど、安心安全な地域作りを進めていくことは重要である。
- ・通学路に指定されているのに歩道が狭いため、その対応は急務だと感じる。早期に改善していくことが必要である。
- ・この拡幅事業にあわせて、地域と連携しながら無電柱化や自転車道整備を進めることに期待する。

## □結論

- 一般国道17号 中村交差点立体
- 一般国道17号 本庄道路（Ⅱ期）
- 一般国道19号 塩尻拡幅

の新規事業化については妥当である。

# 北陸地方小委員会の概要と意見

## □開催日時

令和4年3月9日（水）13:30～14:40

## □場所

北陸地方整備局 4階 共用会議室

金沢河川国道事務所 2階 会議室

## □委員名簿

氏名	所属・役職	出席
秋月 有紀	富山大学 学術研究部 教授	
【委員長】 佐伯 竜彦	新潟大学 工学部 教授	○
鷺見 英司	日本大学 経済学部 教授	○
中村 美香	(有)ミカユニバーサルデザインオフィス 取締役社長	○
馬場先 恵子	金沢学院大学 経済情報学部 教授	○
藤生 慎	金沢大学 理工学域 准教授	○
宮下 剛	長岡技術科学大学 環境社会基盤工学専攻 准教授	○
山下 義順	北陸経済連合会 専務理事	○

(敬称略、五十音順)

## □対象事業

- ・一般国道7号 沼垂道路
- ・一般国道8号 栄拡幅

## □議事概要（各委員からの意見）

### 【共通】

- ・現地で感じる渋滞などの課題に対応した事業であり、整備効果も十分期待できる。

### 【一般国道7号 沼垂道路】

- ・新潟市が進める「にいがた2km」を支援する有益な事業と評価できる。

### 【一般国道8号 栄拡幅】

- ・2車線のボトルネック区間解消となる有益な事業と評価できる。

## □結論

一般国道7号 沼垂道路

一般国道8号 栄拡幅

の新規事業化については妥当である。

# 中部地方小委員会の概要と意見

## □開催日時

令和4年3月10日（木）10:00～11:00

## □場所

中部地方整備局 3階 共用大会議室

## □委員名簿

氏名	所属・役職	出席
いたや 板谷 あけみ 明美	三重大学大学院生物資源学研究科 准教授	
かとう 加藤 よしと 義人	岐阜大学工学部 客員教授	○
【委員長】 くらうち 倉内 文孝	岐阜大学工学部社会基盤工学科 教授	○
くりはら 栗原 だいすけ 大介	(一社)中部経済連合会 常務理事	○
さとう 佐藤 くみ 久美	名古屋国際工科専門職大学工科学部 教授	○
すすき 鈴木 こうじ 弘司	名古屋工業大学社会工学教育類環境都市分野 准教授	○
たかぎ 高木 あきよし 朗義	岐阜大学社会システム経営学環 教授	
みずお 水尾 えり 衣里	名城大学人間学部人間学研究科 教授	○
やまだ 山田 えり 恵里	名古屋市立大学大学院経済学研究科・経済学部 講師	○

## □対象事業

- ・一般国道1号 浜松バイパス（長鶴～中田島）

## □議事概要（各委員からの意見）

【一般国道1号 浜松バイパス（長鶴～中田島）】

- ・浜松バイパスは、生産性の向上に資するだけでなく、沿線企業のBCP遂行の観点からも、重要な道路であり、早期に整備すべき。
- ・立体化区間では地域交通と通過交通を分けることができ、また、渋滞、事故の削減にも繋がることから、浜松バイパスの整備は重要である。
- ・道路整備の重要性、効果を地域の方々にしっかり広報していただきたい。

## □結論

一般国道1号 浜松バイパス（長鶴～中田島）の新規事業化については妥当である。

# 中国地方小委員会の概要と意見

## □開催日時

令和4年3月7日（月）11:00～12:00

## □場所

広島合同庁舎4号館 2階 供用11号会議室

## □委員名簿

氏名	所属・役職	出席
飯野 公央 <small>いいの きみお</small>	島根大学 法文学部 教授	○
鈴木 春菜 <small>すずき はるな</small>	山口大学大学院 創成科学研究科 准教授	○
谷口 雅彦 <small>たにくち まさひこ</small>	中国経済連合会 専務理事	○
谷本 圭志 <small>たにもと けいし</small>	鳥取大学 工学部 教授	
橋本 成仁 <small>はしもと せいじ</small>	岡山大学 学術研究院環境生命科学学域 教授	○
福田 京子 <small>ふくだ きょうこ</small>	地域づくりネットワーク 代表	
山田 知子 <small>やまだ ともこ</small>	比治山大学 現代文化学部マスコミュニケーション学科 教授	○
【委員長】 渡邊 一成 <small>わたなべ かずなり</small>	福山市立大学 都市経営学部 教授	○

（敬称略、五十音順）

## □対象事業

- ・一般国道2号 広島南道路（木材港西～廿日市）
- ・一般国道2号 岡山倉敷立体（I期）
- ・一般国道9号 出雲バイパス（神立～中野東）

## □議事概要（各委員からの意見）

- 事務局より、事業実施環境、事業概要、課題、効果等について説明。
- 各委員から下記の意見があった。

### 【一般国道2号 広島南道路（木材港西～廿日市）】

- ・当該箇所は広域的なミッシングリンクを解消するとともに、産業面、防災面の課題解消にも資する道路である。
- ・また、普通車と貨物車が混在する現道交通の環境改善にも繋がり、地域の道路としても効果を発揮する。

### 【一般国道2号 岡山倉敷立体（I期）】

- ・政令市である岡山市と中核市である倉敷市を結ぶ、都市間リンクを形成する道路。
- ・渋滞解消、物流強化、観光活性化等、地元からの期待も大きい。

### 【一般国道9号 出雲バイパス（神立～中野東）】

- ・市内のアクセス、交通流の改善、救急搬送の改善に効果。
- ・一方で街の開発、土地利用等を考えたまちづくり、モビリティマネジメント等、賢い道路を目指していく必要がある。

## □結論

- 一般国道2号 広島南道路（木材港西～廿日市）
- 一般国道2号 岡山倉敷立体（I期）
- 一般国道9号 出雲バイパス（神立～中野東）

の新規事業化については妥当である。

# 四国地方小委員会の概要と意見

## □開催日時

令和4年3月10日（木）10:00～11:40

## □場所

四国地方整備局 高松サポート合同庁舎北館 13階 災害対策室

## □委員名簿

氏名	所属・役職	出席
くらうち しんや 倉内 慎也	愛媛大学大学院理工学研究科生産環境工学専攻 准教授	○
こんどう あきこ 近藤 明子	四国大学経営情報学部メディア情報学科 准教授	○
の のむら あつこ 野々村 敦子	香川大学創造工学部創造工学科 教授	
はたけなか ともこ 畠中 智子	高知のまちづくりを考える会 代表	○
はとり つよし 羽鳥 剛史	愛媛大学社会共創学部環境デザイン学科 准教授	○
みよし しゅんさく 三好 俊作	四国経済連合会 専務理事	○
やまなか ひでお 山中 英夫	徳島大学理工学部 社会基盤デザイン系 教授	○
【委員長】 わたなべ つねみ 渡邊 法美	高知工科大学経済・マネジメント学群 教授	○

(敬称略、五十音順)

## □対象事業

- ・一般国道56号 四国横断自動車道 宿毛内海道路（宿毛新港～一本松）
- ・一般国道56号 四国横断自動車道 宿毛内海道路（御荘～内海）
- ・一般国道55号 奈半利安芸道路（安田～安芸）

## □議事概要（各委員からの意見）

【一般国道56号 四国横断自動車道 宿毛内海道路（宿毛新港～一本松）】

【一般国道56号 四国横断自動車道 宿毛内海道路（御荘～内海）】

- ・南海トラフ地震への備えや近年の豪雨災害による影響を踏まえ、四国8の字ネットワークの一部を構成する当該区間を事業化し、早期整備を行うべき。また、未事業化区間も繋げていくことが大事。
- ・地域へのヒアリングでも、防災や医療に関する不安の声が多く、これらを指標化することは重要。
- ・防災面だけでなく、空港アクセスや関西圏へのアクセスなど、産業や観光への効果も期待している。

【一般国道55号 奈半利安芸道路（安田～安芸）】

- ・ネットワークB/Cが1をわずかに超える程度だが、四国8の字ネットワークの一部を構成する当該区間の事業化は、防災面でも意義があることに加え大規模災害時の避難・救援など貨幣換算されていない効果もあることから、早期整備を行うべき。また、未事業化区間も繋げていくことが大事。
- ・道路には3便益では計られない役割があり、今回、防災上の効果等が貨幣換算されたことは、道路の多様な効果を定量化する上で重要。
- ・南海トラフ地震等災害時の避難・救援ルートが確保されることによる安全・安心など防災上の効果等を貨幣換算することについては、引き続き検討をお願いしたい。
- ・便益が費用を上回ることが事業化の要件だが、一定の仮定に基づく推計値であるB/Cが1を下回ると事業化が出来ない現行の運用の見直しをお願いしたい。なお、見直しを行う際は、社会情勢を踏まえ、現行の3便益についてもしっかりと精査をお願いしたい。

## □結論

- ・一般国道56号 四国横断自動車道 宿毛内海道路（宿毛新港～一本松）
- ・一般国道56号 四国横断自動車道 宿毛内海道路（御荘～内海）
- ・一般国道55号 奈半利安芸道路（安田～安芸）

の新規事業化については妥当である。

# 九州地方小委員会の概要と意見

## □開催日時

令和4年3月8日（火）13:30～15:15

## □場所

九州地方整備局（福岡第二合同庁舎） 2階共用会議室

## □委員名簿

氏名	所属・役職	出席
いけうち ひろこ 池内 比呂子	（一社）九州経済連合会 理事 （株）テノ、ホールディングス 代表取締役社長	○
いしばし とちや 石橋 知也	長崎大学大学院 工学研究科 准教授	○
くわの いずみ 桑野 和泉	（一社）由布市まちづくり観光局 代表理事	
ささかわ みちこ 笹川 理子	弁護士法人 笹川法律事務所 弁護士	○
しまもと ひろし 嶋本 寛	宮崎大学 工学教育研究部 社会環境システム工学科 准教授	○
てらまち けんいち 寺町 賢一	九州工業大学大学院 工学研究院 建設社会工学研究系 准教授	○
とだ じゅんいちろう 戸田 順一郎	佐賀大学 経済学部 准教授	○
まつなが ちあき 松永 千晶	福岡女子大学 国際文理学部 環境科学科 准教授	○
【委員長】 まるやま たくや 円山 琢也	熊本大学 くまもと水循環・減災研究 教育センター 准教授	○
よしだ 吉田 まりえ	九州の暮らし創造研究所 代表	

（敬称略、五十音順）

## □対象事業

- ・一般国道218号（九州横断自動車道延岡線）矢部清和道路
- ・一般国道3号 博多バイパス（下臼井～空港口）
- ・一般国道201号 仲哀拡幅
- ・一般国道202号 唐津バイパス
- ・一般国道57号（中九州横断道路）大津熊本道路（大津西～合志）

## □議事概要（各委員からの意見）

### 【一般国道218号（九州横断自動車道延岡線）矢部清和道路】

- ・災害時の代替機能が確保され、防災上の観点からも非常に重要である。  
また、広域ネットワークの構築に伴うアクセス性の向上で、救える命が増えるなど地域医療活動に効果が期待できる。
- ・事業費については不確定要素も想定されるため、コスト縮減にも努めること。

### 【一般国道3号 博多バイパス（下臼井～空港口）】

- ・物流関連企業が集積している福岡都市圏東部地域において、渋滞の影響で物流活動を阻害している状況であり、福岡空港に近接し、時間信頼性の価値も高いため、スピード感をもって進めるべきである。

### 【一般国道201号 仲哀拡幅】

- ・セメントや自動車関連貨物などの地域産業の物流を担う重要な路線において、大型車等の物流交通を確保することは速達性・安全性の向上など、物流に与える効果は非常に大きい。

### 【一般国道202号 唐津バイパス】

- ・車線数減少区間の渋滞ボトルネックを解消することで、潜在的な事故リスクや当該区間外においても事故軽減が見込めるなど、効果は大きい。

### 【一般国道57号（中九州横断道路）大津熊本道路（大津西～合志）】

- ・経済安全保障の強化に繋がる半導体関連産業の発展・集積を支える道路であり、サプライチェーン全体の物流効率化への支援が期待できる。

## □結論

一般国道218号（九州横断自動車道延岡線）矢部清和道路  
一般国道3号 博多バイパス（下臼井～空港口）  
一般国道201号 仲哀拡幅  
一般国道202号 唐津バイパス  
一般国道57号（中九州横断道路）大津熊本道路（大津西～合志）  
の新規事業化については妥当である。